

福島第一原子力発電所現地確認報告書

1 確認日

令和元年12月17日（火）

2 確認箇所

- ・ F2タンクエリア
- ・ 1/2号機共用排気筒（1/2号機開閉所前から確認）

3 確認項目

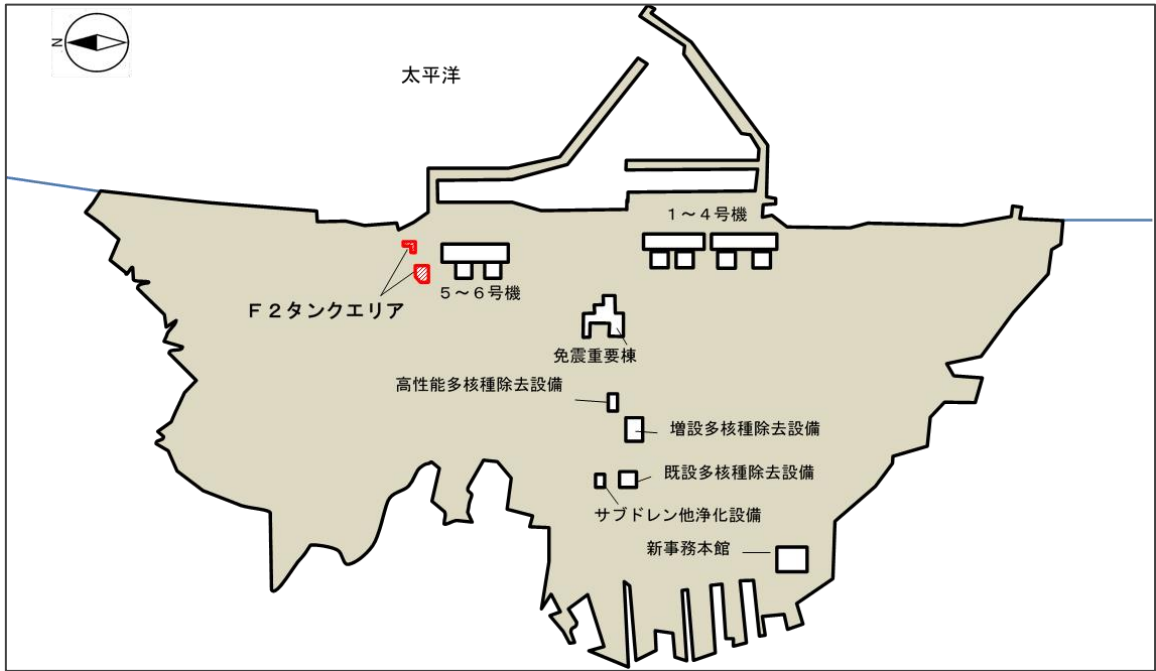
- （1） F2タンクエリアフランジ型タンクの現況
- （2） 1/2号機共用排気筒解体工事の状況

4 確認結果の概要

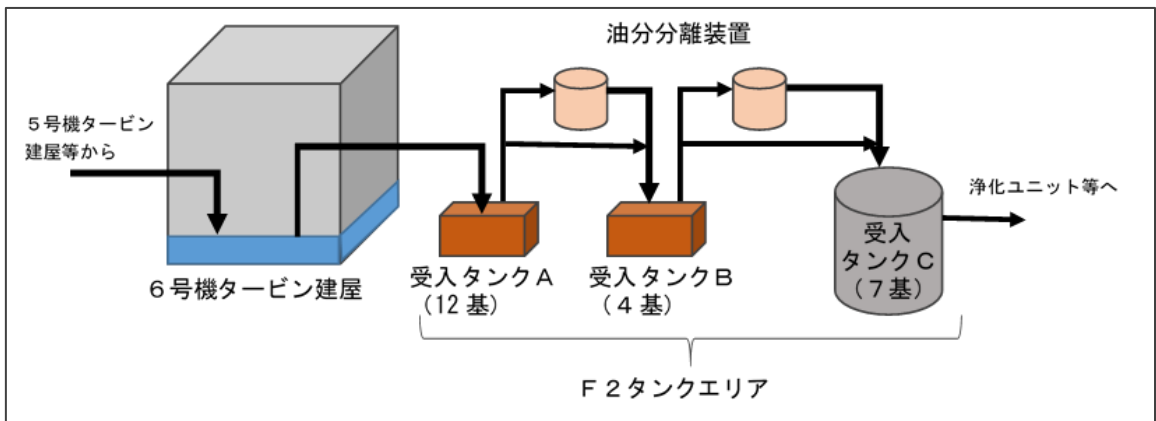
（1） F2タンクエリアフランジ型タンクの現況について

フランジ型タンクの使用継続に当たってはタンク側面のフランジ部等に補修塗装を実施する漏えい対策が順次実施されている。当面使用が継続されるフランジ型タンクのうち、今回は昨日に引き続き、5・6号機の滞留水を貯留しているF2タンクエリアの現況を確認した。（図1、写真1）

- ・ F2タンクエリアは受入タンクA、B、Cで構成されており、受入タンクAは12基の鋼製角形タンク、受入タンクBは4基の鋼製角形タンク、受入タンクCは7基の鋼製円筒型タンク（フランジ型）である。（図2）
- ・ 受入タンクA、B、C共に、一部で塗装の剥離や錆の発生が見られたが、目視の範囲では漏えいの痕跡等は確認されなかった。（写真2）
- ・ 受入タンクC全7基の外周下部については補修塗装が行われていた。（写真2-3）
- ・ 移送配管や堰についても目視の範囲では異常は確認されなかった。（写真3）
- ・ 東京電力によると、受入タンクC内面については、フランジ接続部のシールの点検を実施し、再シール処理を行うとともに、塗装を実施したとのことである。



(図1) 福島第一原子力発電所構内概略図



(図2) F2タンクエリア概略図



(写真1)
F2タンクエリア外観
(西側から撮影)



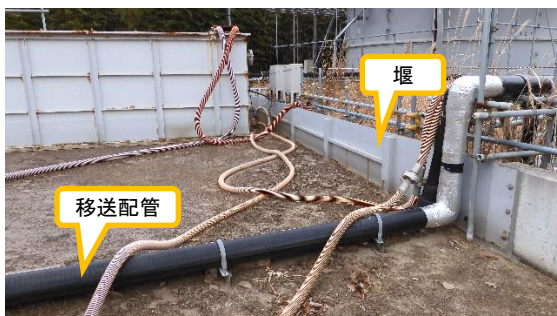
(写真 2 - 1)
受入タンク A 外観
(北東側から撮影)



(写真 2 - 2)
受入タンク B 外観
(北西側から撮影)



(写真 2 - 3)
受入タンク C 外観
(北東側から撮影)



(写真 3)
受入タンク C 周囲の移送配管と
堰の一例

(2) 1 / 2 号機共用排気筒解体工事の状況について

1 / 2 号機共用排気筒解体作業は本年 8 月 1 日から作業を実施しており、排気筒上部の約 60m を 23 ブロックに分けて解体する計画のうち、1 ~ 4 ブロック目までの解体を 12 月 4 日までに完了している。

5 ブロック目の解体作業が 12 月 16 日から開始されたことから状況を確認した。

- ・現地確認時（11時50分頃）、排気筒頂部に解体装置が設置されていた。（写真4）
- ・東京電力によると、12月16日15時36分にクレーンを用いて解体装置の吊り上げを開始した後、電線管や梯子等の切断を行い、本日（12月17日）11時40分から筒身の切断作業を開始したとのことであった。



（写真4）

- 5 プラント関連パラメータ確認
各パラメータについて、異常な値は確認されなかった。